

一般社団法人 三多摩腎疾患治療医会  
会員各位

前略

皆様、いつも本会の活動に多大なご協力ご支援を賜り、まことに有難うございます。

さて9/1（水）の災害対策訓練においては、日常業務で大変忙しい中、またコロナ対応で落ち着かない中、訓練への積極的なご参加、まことに有難うございました。都本部からの訓練集計情報も参照して作成した三多摩地区での訓練総括を下記にご報告申し上げます。

草々

令和4年9月1日 三多摩腎疾患治療医会災害対策訓練 総括

I. Tokyo DIEMAS を利用した災害情報登録訓練（日本透析医会ネットワークへの連携入力）

地区 情報登録実施施設数/ DIEMAS 登録施設数(実施率%)

西多摩	8/8	(100%)
南多摩	25/34	(73.5%)
北多摩西部	15/19	(79%)
北多摩南部	22/27	(81.5%)
北多摩北部	7/13	(53.9%)

三多摩合計 77/101 (76.2%)

日本透析医会への情報登録実施施設数 198/444 (44.6%：東京都全体での集計結果です)

まとめ：上記のごとく、三多摩地区の Tokyo Diemas を利用した訓練参加率は約 80%で、例年同様に東京都全体の参加率と比較し良好でした。一方、日本透析医会ネットワークへの連携入力への参加は東京都全体での集計結果となりますが、低調な状況が続いており今後何らかの調整が必要と思われました。

II. メーリングリストを利用した地区情報の共有訓練

地区 返信実施施設数/三多摩会員施設数：実施率%

西多摩	9/ 10:	90%
南多摩	26/ 38:	68%
北多摩西部	18/ 21:	86%
北多摩南部	18/ 27:	67%
北多摩北部	7/ 14:	50%

三多摩合計

78/ 110: 71%

まとめ: 昨年の合計参加施設数は 68/110 施設 (62%) でしたので、だいぶ参加率が改善しました。特に北多摩西部、北多摩南部における参加率が著しく改善しておりました。ご協力まことに有難うございました。今回の訓練で気付いた問題点として、使用するメールシステムによって、緊急時のメーリングリストで配信したメールが迷惑メールに振り分けられてしまって配信に気付かれないことがある事が分かりました。今回の訓練において訓練開始のメールを繰り返し出してしまったのは、配信確認を依頼した配信先の確認がなかなか取れなかったため、その理由はその配信先でメールが全て迷惑ホルダーに振り分けられてしまって受信者が気付けなかったためでした。何度もメールを配信してしまい、申し訳ありませんでした。また、以前もお伝えしましたが、緊急時メーリングリストに、あらかじめ対応担当者の正しいメールアドレスが登録されていないと、メーリングリストに返信ができず、訓練に参加できません。来年も8月中にメーリングリストのアップデートをご依頼する予定ですので、どうかご対応よろしくお願いいたします。

### III. MCA 無線による三多摩内の連携訓練 ※MCA 無線設置 18 施設のみ

今回は実際の緊急時を模して、事前の参加可否の確認なく、直前の連絡のみで訓練を実施しましたが、1 施設を除き全施設で通信に問題なく訓練実施できました。ご協力有難うございました。都区部との共用通信訓練は、今回実施できませんでしたが、10-11 月ころに実施予定ですので、再度のご協力よろしくお願い申し上げます。

以上

令和 4 年 9 月 5 日

一般社団法人 三多摩腎疾患治療医会  
理事長 要 伸也  
災害対策委員長 尾田 高志

ご質問、お問い合わせは 東京医科大学八王子医療センター腎臓病センター 事務局 秘書 河村  
kawamu\_y@tokyo-med.ac.jp  
TEL: 042-665-5611 (代表)  
までお願い致します。